

# とやま労福協

発行所／(社)富山県労働者福祉事業協会 〒930-0857 富山市奥田新町8番1号 TEL076-431-0539 FAX076-431-0510 ■発行責任者／宮本久雄・編集者／青木真佐美



## 労福協設立50年 「収益・公益事業」の 着実な前進をめざす



社団法人 富山県労働者福祉事業協会  
理事長 森本富志雄

2009年の幕開けを心新たにお迎えのことと存じます。皆さんにとって本年が穏やかで明るく、希望のもてる良い年でありますよう心からご祈念申し上げます。今年、富山県労働者福祉事業協会が1959年8月21日に設立されて50周年の節目を迎えることから、8月21日に式典及び祝賀会を予定していますが、今年こそ、暮らして夢がもてる活力ある福祉社会への扉を開く年にしたいと願っています。

さて、アメリカ発の経済危機に端を発した急激な景気悪化が幅広い産業に波及拡大し、雇用情勢はかつてない事態に直面しています。派遣労働者・非正規労働者の削減が進んで、業種によっては正規労働者までリストラの波が押し寄せて、勤労者の雇用と生活環境に深刻な打撃を及ぼし、一段と厳しい将来不安にあるといっても過言ではありません。

市場経済至上主義やそれに伴う競争万能の流れが強まる中で、マネーゲーム化して暴走し続けた新自由経済の破綻は、危機的な状況で格差社会や「働く貧困層の固定化」の拡大に一層拍車がかかることが懸念されます。

年金や医療などの社会保障制度が揺らぎ、不安定な雇用構造のもとで勤労者の暮らしと将来不安の広がりを見せる今日、社会の不条理に立ち向かう私たちの役割はますます重要になっています。

人としての尊厳が保障され、「支え合いと助け合い」の原理が活かされる社会、ゆとりと豊かさが実感でき温もりのある社会を目指す運動を更に発展させる必要があります。

労福協は、連合富山をはじめ北陸労金、全労済、県生協、勤信協、ボルフアートとやま、ゆ〜とりあ越中、北モータープールなど労働団体と福祉事業団体が協働の公益事業として、地域で勤労者の暮らしサポート事業を富山県ライフサポートセンターで取り組んでいます。昨年からは、富山・高岡・砺波・新川の地域でライフサポートセンターを設け、各地域を拠点に高齢者・退職者団体連合とも連携しながら事業展開しています。地域社会の弱体化や生活者の孤立が顕在しており、地域コミュニティを担えるよう推進してまいります。

労福協の収益事業では、2年目となる「労福協センターの経営改善計画」に基づく労働界からの借換借入やボルフアート会館事業活性化の新会費の取組みに全力をあげ、連合富山各構成組織のご理解で確実に推移しています。今日までの力強いご支援に衷心より深謝申し上げます。引き続き、着実な前進を図るため全力を傾注いたしますが、一層のご協力をお願い申し上げます。

## 今年もよろしくお願ひ致します

|         |   |         |       |
|---------|---|---------|-------|
| 職 相 事 勞 | 監   | 理 專 副   | 理 事 長 |
| 談 務 務 福 | 事   | 務 務 理 事 | 事 長   |
| 員 役 局 協 | 西 鶴 工 尾 岩 山 平 北 瀬 藤 西 西 小 尾 松 上 長 石 永 松 宮 安 藤 草 森 | 事 事 事   | 事 長   |
| 青 鈴 吉   | 田 木 藤 島 城 本 野 宮 川 井 田 田 泉 谷 田 野 黒 田 浦 本 東 畑 嶋 本   |         |       |
| 木 木 久   | 清 邦 正 博 敏 英 宗 一 武 德 康 秀 友 祐 博 久 総 安 富             |         | 志 雄   |
| 真 光     | 晋 人 雄 和 志 夫 武 明 亨 一 朗 弘 朗 弘 孝 行 二 博 樹 均 雄 誠 司 治 雄 |         |       |
| 佐 男 勇   |   |         |       |

## 安心・信頼の社会実現に 向け政権交代に 全力を挙げる

日本労働組合総連合会富山県連合会

会長 森本富志雄



新年あけましておめでとうございます。

新春を穏やかな中にご家族とともに迎えられ、心からお喜び申し上げます。

昨年は、福田首相の突然の退任やアメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界的な景気後退、無差別殺人事件の続発、さらに、相も変わらず食品の偽装や品質問題、改善されない年金問題、後期高齢者医療制度における新たな負担など、ますます生活者の安心・安全が脅かされた一年でありました。

働く者の生活は、昨年10月以降に深刻化した世界的な金融危機と円高・株安に伴う企業収益の急速な悪化と、食料品を中心とする生活必需品の大幅な値上がりや、社会保険料の負担増加などにより可処分所得が低下し、年々厳しくなっています。また、景気後退に伴う企業業績の悪化により、雇用調整の動きも顕著となっており、派遣やパートなど非正規雇用労働者の解雇が

相次いでおり、失業率の増加やさらなる格差の拡大が懸念されています。

連合は、09年春季生活闘争において、賃金カーブ維持分の確保の上に、物価上昇に見合うベアにより、勤労者の実質生活を維持・確保することを始め、非正規労働者の処遇改善のための社会的キャンペーンの実施、また、ワークライフバランスの実現に向けて、長時間労働の是正のための休日増を始めとする所定労働時間の短縮や、時間外労働割増率の引き上げなど、景気の回復と生活防衛のために総力を挙げて取り組むこととしています。

連合富山は、構成組織の協力を得ながら、すべての働く者が、将来にわたって安心して働ける社会、信頼しあえる社会の実現に向けて積極的に取り組んでいきます。また、長期にわたる自公政権によってもたらされた国民の不満や不安の解消に向けて、早期に予測される次の衆議院の解散・総選挙において政権交代を実現するために、小選挙区における推薦候補の勝利に全力を挙げて取り組んでいきますので、皆さんのご理解とご支援をお願いします。

今年が皆さんにとって明るく充実した年になることを祈念します。

## 「人が輝く 元気とやま」の 創造をめざして

富山県知事

石井 隆一



明けましておめでとうございます。西暦2009年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

労働福祉事業団体の皆様方には、日頃から労働者の福祉充実や生活向上のため、幅広い事業活動を積極的に展開されており、深く敬意を表します。

平成16年に知事に就任して以来、私の変わらぬ目標は、県民の皆さんが、男性も女性も、高齢者も若い方も、一人ひとりが輝いて生きられる「元気な富山県」を創ることです。

このためにも、私は、引き続き行財政改革に真摯に取り組むとともに、「活力」「未来」「安心」の三つを柱とする六十項目の重要政策の着実な推進に努め、富山県の新たな未来を切り拓き、「人が輝く 元気とやま」の創造の実現をめざしてまいります。

第一に、「活力とやま」の実現、すなわち、毎年三千人余の若者が東京などに流出している状況に歯止め

をかけ、若者をはじめ県民の皆さんが「夢や誇りを持って富山県で生き生きと働き暮らせる経済社会づくり」をめざします。

第二に、「未来とやま」の実現、すなわち、現在、1.34と低迷している本県の合計特殊出生率の向上を図るため、若いご夫婦が希望を持ち、安心して子どもを生育てられる、「未来に希望の持てる社会づくり」をめざします。

第三に、「安心とやま」の実現、すなわち、高齢化が進行する中で、高齢者・障害者を含め県民の皆さんがそれぞれに、健康で生きがいをもち安心して暮らせる「健康で安全・安心な地域社会づくり」をめざします。

また、こうした政策を実現するため、引き続き、「オープンでわかりやすい」、「県民の自立と幸せの重視」、「スピード重視」、「現場重視」、「とやまから日本を変える」の五つの基本姿勢に立って、県政運営を行ってまいります。

新年にあたり、県政に対するご理解とご協力をお願い申し上げますとともに労働福祉事業団体の限りないご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

## ろうきんは勤労者の 「ライフライン」

北陸労働金庫

富山県本部長 山本 敏夫



新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃よりろうきんへのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

昨年は、米国のサブプライムローン問題に端を發した金融不安は、リーマンブラザーズの経営破綻など米国の金融界に打撃を与えたばかりではなく、自動車のビッグスリーの経営悪化、住宅産業の低迷等あらゆる産業にその影響を及ぼし、世界的な規模で経済不況の波を引き起こしています。日本国内でもその影響は一段と大きくなり、証券市場・金融業態のみならず建設・自動車・電機など多くの産業に景気悪化の波が押し寄せてきています。そのため、雇用環境は熾烈を極め派遣社員等非正規労働者の契約打ち切り、収入状況の悪化等、勤労者にとって先行き不安を抱えながら新年を迎えることとなりました。

ろうきんは、こうした中で社会的な役割を發揮する

ためにも「良質な商品」を提供し、「家計の見直し・ローンの見直し相談」や「多重債務者の救援」など相談活動を重視した、勤労者の生活応援運動を今年も展開していきます。

昨年10月に、『労金の全国合併「日本労金設立」(案)』を提起、会員討議を実施して、皆様から多くの意見・要望を頂きました。今後さらに皆様と討議を深め、今年の通常総会でその方向性について意志決定を行うこととしています。

2009年度は、昨年策定した「中期計画」に基づき、①金融サービスの向上、②取引基盤の拡大、③安定した収益基盤の確立、④最新の金融サービスの実現に向けて、より具体化を図り取り組んでいきます。

ろうきんは、今年も「勤労者のライフライン」となるべく役職員一丸となって一層努力していく所存ですので、関係諸団体、組合員の皆様には、更なるご協力を頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

皆様のご健康とご発展を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 「保障の生協としての 使命を果たします」

全労済富山県本部

理事長 藤畑 総司



新年あけましておめでとうございます。

協力団体、組合員のみなさまには、全労済の事業に対し深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、おかげさまで50周年を迎え、次の50年に向けての新しいスタートを切らせていただきました。

本年も、あたらしい全労済の理念である「みんなでたすけあい、ゆたかで安心できる社会づくり」を目指し、「組合員」のみなさまに安心・安全な暮らしを提供できるように、役職員一丸となって努力いたします。

昨年4月の生協法改正、2012年に想定される国際会計基準の導入などの諸情勢をふまえ、全労済の果たすべき社会的役割、責任の大きさを痛感しているところです。

契約者保護や経営の健全性・透明性など、これまでも増して重要な課題に、着実に対応してまいります。

また、保障の生協として、人と人とのつながり、ネットワーク、対話を大切にし、保障全般に関わるご相談や協力団体の福祉活動へのご支援などを行ないながら、保障ニーズに応じ、各種共済の利用を促進いたします。

みなさまのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

さらに、「訪問介護」の事業やくつろぎの宿「越中庄川荘」の施設事業についても、多くの方のご利用をお待ちいたしております。

みなさまとご家族のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

2009年 元旦



## 商品の安全・安心を確保し、 「暮らし」と「地域社会」へ お役立ちする富山県生協

富山県生活協同組合

理事長 松浦 均



新年明けましておめでとうございます。

2009年度の新春を、ご家族揃ってご健勝でお迎えになったこと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、第49回通常総代会において「生協の輪を広げ、食の安全、安心の確保に取り組み、暮らしの安心づくりをすすめよう」のスローガンの下、食と暮らしの安心づくりを進めていくことをご承認いただき、組合員の視点に立って取り組みましたが、度重なるコープ商品による産地偽装問題など、組合員の生協商品に対する信頼回復には、残念ながら至っていないと受け止めております。富山県生協では、食品安全マネジメントシステム（ISO22000）取得の準備をはじめ、商品の取扱い基準を明確にし、商品の安全確認基本4業務（商品仕様書点検・製造工場点検・商品検査・組合員対応）を軸に、安全・安心な商品のお届けに取り組んでいます。更に、安心してご利用いただくために、組合員さんへ原材料の原産地・原産国の情報をカタログ

グやインターネット、携帯電話などあらゆる媒体を通し情報提供を進めています。また、万が一の商品事故に備え24時間トラブル受付窓口を設置しました。

暮らしをめぐる情勢は、原材料の高騰で商品価格が相次いで値上げとなり、社会保障問題では、年金制度、介護保険制度など、暮らしへの不安が根深い深刻な問題となっています。また、偽装表示問題を受けて、食の安全・安心を担保していく社会的仕組みづくりが進み、すばやい対応が求められています。生協陣営の経営、活動の面では、労働法改正、日本版SOX法施行、消費者庁設置、事業活動を維持していくためのクライシス（商品重大事故、災害、新型インフルエンザ）への対応が求められます。

富山県生協では、お陰様をもちまして、今年、創立50周年記念という大きな節目を迎えることとなりました。皆様方の今までの並々ならぬ御厚情に心から感謝申し上げます。今一度「組合員と共に」「地域社会と共に」と言う、生協運動の原点に立ち返り県生協「第2創生期」として新たなスタートを切っていく所存でございます。

皆さまの格段のご支援・ご協力をお願い申し上げ、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 新公益法人改革への 対応と勤労者の 福祉向上に向けて

財団法人富山県勤労者信用基金協会

理事長 安東 誠



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、2009年の初春をご健勝で迎えられること、心からお慶び申し上げます。

昨年中は、当協会の事業活動に対し、格段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、当協会は、「勤労者の信用力を補完し労働金庫を利用する途を開き、その経済的地位の向上と福祉の増進に貢献する」ことを目的に、公益財団法人として、昭和47年7月設立され、勤労者の住宅建設・自動車・生活等の資金借入れの信用を補完する事業に取り組んできました。

しかし、昨年12月1日からは、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進を寄与する」ために、新たに「新公益法人制度改革関連3法」が施行され、当協会は「特例民法法人」として事業活動を行っています。

今後、5年間の間には、新公益法人制度による「公益財団法人」または「一般財団法人」のいずれかに移行することとなりますが、現行の事業内容と移行認定基準等との整合性等を慎重に精査しつつ、所管官庁、北陸労働金庫、労福協及び労信協等の関係各機関と連携を密にして、取り組んでいきたいと考えています。

一方、当協会の事業活動については、世界的な金融危機による景気の後退、企業業績の悪化、雇用環境の悪化等、世界恐慌にも匹敵する歴史的な厳しい生活環境のなか、勤労者の生活・福祉の向上を第一義に、信用保証引き受けの拡大、代位弁済の着実な履行、求償権の管理・回収の強化等に取り組み、安定的な信用保証業務の推進と事業基盤の確立を図ります。

2009年度は、新公益法人制度改革への対応等、かつてない厳しい選択を迫られる年となりますが、役員一同、一生懸命頑張る所存であります。

皆様方には、この一年間のご多幸を祈念しつつ、旧年に倍してのご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 満足いただける心の こもったおもてなしに邁進

(株)ボルファートとやま

代表取締役社長 宮本 久雄



新年明けましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いで健やかに輝かしい新年を迎えられたことに心からお慶び申し上げます。

日頃よりボルファートとやまをご愛顧賜り、社員一同厚く衷心より感謝と御礼を申し上げます。

今年も「富山県下の勤労者の総合福祉会館」の業務に携わっていることに感謝をし、「真心込めたおもてなし、ご満足いただけるサービス」を原動力に情熱を傾けたいと存じます。

貸室事業は、お客様のご要望に誠意を持って承り、弊社25年の事業経験を発揮しながらも創業時の原点に立ち返り、会議・集会・研修会などご来場の皆様すべてのご満足と感動を提供させていただきます。

宴会事業は、厳選された季節の味覚を独創的な和洋融合のご料理をスタッフ一同真心込めてお作りいたします。時代のニーズを取り込める感性を豊かに大切なお客様から好感をいただける打ち合わせと企画、笑顔と心配りを大切に心から満足いただけるバラエティーあふれる演出とアフターサービス提供の徹底を行って

まいります。

婚礼事業は、新郎新婦の華やかな門出であり一生の晴れ舞台である婚礼のお世話をさせていただける感謝を大切に、お二人や御親族様の各種リクエストを真摯に拝聴し各種プランニング・演出させていただきます。

周辺に大きなゲストハウスがあるなど激戦地ではありますが、伝統と格式のある「チャペル・オブ・ザ・ローズ」の豪華な挙式だけでなく、新生殿（神殿）での格式高い挙式や弊社ならではのオリジナルなウエディングにも取り組んでまいります。

法会事業は、時代とともに多様化するご要望スタイルを敏感に感じる研鑽を重ね、ボルファート館内での「一体的な年忌法会」のご案内・ご提供を進めてまいります。年忌法会であれば全て弊社に任せて安心とご信頼を得るよう執り行なって参ります。

直営店の「杜里」「ミュウミュウ」は、喫茶・レストラン以外にも少人数で気軽に安心利用いただけるご満足宴会プランを御用意してご利用を勧めてまいります。

フラワー事業は、メモリアルフラワーサービス（ご家族様の記念日にお花を贈呈）を大きく伸ばす年にしたいと存じています。

皆様方より一層のご指導ご鞭撻をよろしく願い申し上げます。

## 創立10周年を契機に 利用客の増加と拡大を

春日温泉観光開発株式会社

代表取締役社長 永田 博樹



新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、希望と期待に満ちあふれた2009年の初春を、ご健勝で迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

昨年中は、多くの皆様方に「ゆ〜とりあ越中」をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は実感のない景気回復が続いていましたが、サブプライムローン問題、株安・ドル高やエネルギー・原材料価格高の影響などから景気は減速しています。

さらに、温泉・旅館業を取り巻く環境も大変厳しく、原油価格の高騰、原材料等の値上げにより、それらが経営を圧迫し、かつて経験をしたことがない状況にあります。

加えて、県内外の温泉・旅館業界は、今まで以上に生き残りをかけたサバイバル競争が、熾烈化する状況下にあります。

このような状況下で、2009年の「ゆ〜とりあ越中」は、(1) 団体客から個人・グループ客への利用形態が進展していること。(2) 日帰り・宿泊客の減少傾向に歯止めをかけること。(3) 少子高齢化時代を迎えていること。(4) 多様化するお客様サービスに応えること等、直面する諸課題に素早く対処し、安定した経営基盤の確立を図ることが求められる年となります。「ゆ〜とりあ越中」としても、日帰り・宿泊客の増加策は喫緊の課題であり、リピーター客の囲い込み、インターネットを活用した予約獲得、近隣地域等への訪問営業の強化など、全社員が全力をあげて取り組まなければなりません。

このように、今年も諸課題が山積している「ゆ〜とりあ越中」ではありますが、「勤労者の保養施設」として、今まで以上に愛され、親しまれるよう、全社員が一丸となって取り組みます。

「ゆ〜とりあ越中」は本年6月3日で創立10周年を迎えます。これを契機に、今まで以上に真心のこもったおもてなしと、安心できる施設で皆様方をお待ち申し上げます。

今年も昨年同様、変わらないご愛顧をお願い申し上げます。

## 北陸新幹線開業を控え 営業努力を一段と強める



(株)富山北モータープール

代表取締役社長 森本富志雄

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より富山北モータープールをご利用いただき、感謝とお礼を申し上げます。

JR富山駅周辺地区では、2014年度末に予定されている北陸新幹線開業を控え、都市基盤整備事業が着々と進められています。富山駅の高架化事業では、昨年12月に「富山駅周辺景観デザイン検討委員会」が設置され、富山駅の北口・南口の垣根を越えた駅周辺の景観イメージが間もなく姿を現すようです。駅周辺は独

自の駐車場が多く設置され、低価格の駐車場も出てきました、今後は低価格競争が売上に大きく影響していくと考えられます。

日本経済の後退懸念や県内の新車登録台数の減少傾向など、厳しい経営環境となっていますが、利用者の皆さまのサービス向上に心がけてまいります。

環水公園では、リレーマラソンやクリスマスの花火等の各種イベントに年々人が集まり賑わいを増しています。近隣施設のイベントは時間駐車に大きく影響しますので連携強化に努めていきます。

本年も営業努力を一段と強めることはもちろんのこと、「安全で、便利で、安心して利用できる駐車場」として顧客の期待に応えるべく経営改善を考えていきますので、一層のご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

今年も皆様とご家族にとって素晴らしい年でありますようご祈念申し上げ、年頭のあいさつとします。

## 新たな福祉ニーズに 応える事業の拡大をめざす



(財)富山県労働福祉基金

理事長 森本富志雄

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

平素より富山県労働福祉基金に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

今日、金融危機に端を発した実体経済の悪化が幅広い産業に波及しリスラの波が押し寄せて、勤労者の雇用と生活環境はかつてない局面を迎えています。年金や医療などの社会保障制度は揺らぎ、非正規雇用者の増大という不安定な雇用構造のもとで、勤労者の生活不安は一段と厳しくなっているとんでも過言ではありません。

富山県労働福祉基金は、基金運用益と富山県及び市町自治体、さらに県内労働福祉事業団体の臨時負担金で「中小企業勤労者や未組織勤労者の福祉の向上・発展及び生活の安定を図るための」事業を展開しています。

勤労者の地域生活で生じる問題への支援ニーズは、

従来の付加給付事業だけでは対応しきれない子育て支援など退職後も含めたトータルな生涯福祉支援などの広がりを見せています。

新たなニーズに応えるため、富山県ライフサポートセンターの富山・高岡・砺波・新川地域ライフサポートセンターにも立山山麓スキー場（オールシーズン）リフト券補助交付事務の協力をお願いして事業の拡大に努める所存であります。

今後とも皆様の一層のご協力とご支援を賜りますよう宜しくお願いします。

### 主な事業

- (1) 県内の宿泊（保養）施設16箇所の利用補助事業
- (2) 海の家（岩瀬浜・永楽荘、千里浜・いかり）と太閤山ランド「プール広場」利用補助事業
- (3) 立山山麓スキー場（オールシーズン）リフト券の補助事業
- (4) 「教育ローン、福祉ローン、出産・子育て資金」融資保証料一部助成事業
- (5) 富山県立近代美術館、富山県水墨美術館、高岡市美術館、高岡市万葉歴史館、富山市郷土博物館、佐藤記念美術館、富山市民俗民芸村、富山市科学博物館、富山市天文台など9施設の常設鑑賞券助成事業